

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月25日	
石川県知事 殿	
提出者	
住 所 石川県能美市浜町ヌ167番地 氏 名 小松マテーレ株式会社 代表取締役社長 中山 大輔 電話番号 0761-55-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	小松マテーレ株式会社 美川工場
事業場の所在地	石川県白山市鹿島町1-7-1
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	染色整理業(合成繊維) [114]
②事業の規模	4,461百万円
③従業員数	116人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添(図1)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) (1) 責任者および管理組織 統轄責任者 生産本部長 廃棄物管理責任者 エネルギー管理G 廃棄物処理担当 エネルギー管理G (2) 教育・研修等 発生する産業廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し、社員に定期的に教育する。 (3) 情報公開 地域会合には積極的に参加し、産業廃棄物及び環境対策について連絡する。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別 添（表 1）	
	排 出 量	別 添（表 1） t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別 添（表 2）	
	排 出 量	別 添（表 2） t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 化学繊維くずを歩留まりの向上対策および製品カット方法の見直しを行い、その発生を抑制する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、汚泥、木くず		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、汚泥、木くず		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 1）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添（表 1） t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 2）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添（表 2） t	t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 1）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添（表 1） t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添（表 1） t	t
（これまでに実施した取組）			
・ 最新の脱水設備に更新し、減量化率を向上を図る。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 2）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添（表 2） t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添（表 2） t	t
（今後実施する予定の取組）			
・ 常に適正な凝集剤を選定し、有機性汚泥の減量化率向上させる			
・ 汚泥減容菌による減量化を図る			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 1）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添（表 1） t	t
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 2）	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添（表 2） t	t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添（表 1）	
	全処理委託量	別添（表 1） t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添（表 1） t	t
	再生利用業者への処理委託量	別添（表 1） t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添（表 1） t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添（表 1） t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 電子マニフェストの導入・検討を行った。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別 添 (表 2)	
	全 処 理 委 託 量	別 添 (表 2) t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別 添 (表 2) t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別 添 (表 2) t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別 添 (表 2) t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別 添 (表 2) t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 化学繊維くずの分別を徹底することによりプラスチック材料として再利用を行う。 ・ 有機性汚泥は自社根上工場で汚泥乾燥処理を推進する。 ・ 処理業者と委託契約を結ぶに当たっての事前の現地確認(処理状況、維持管理状況、周辺状況)と委託後の定期的な確認をする。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

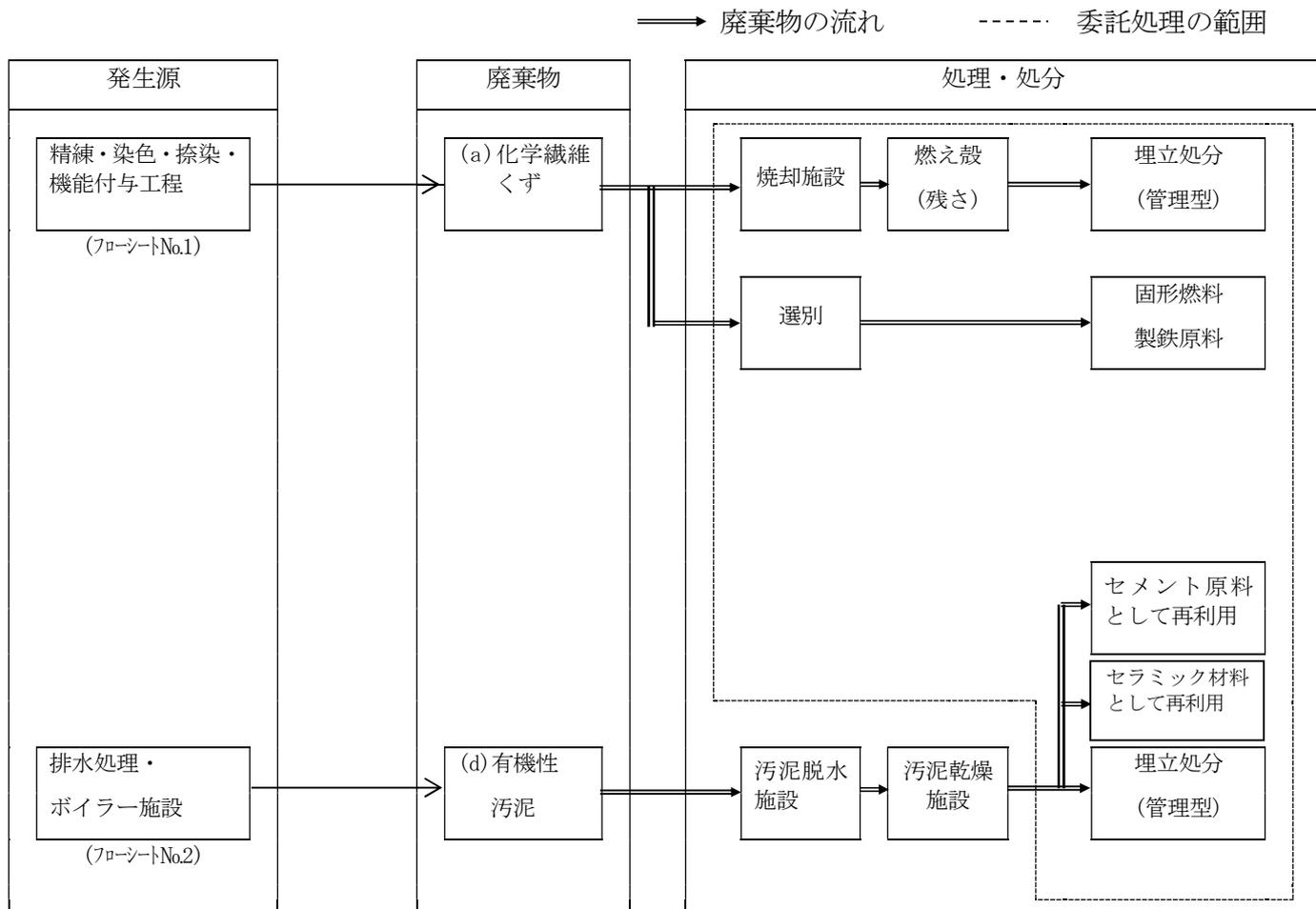


図 1. 廃棄物処理フローシート (現行)

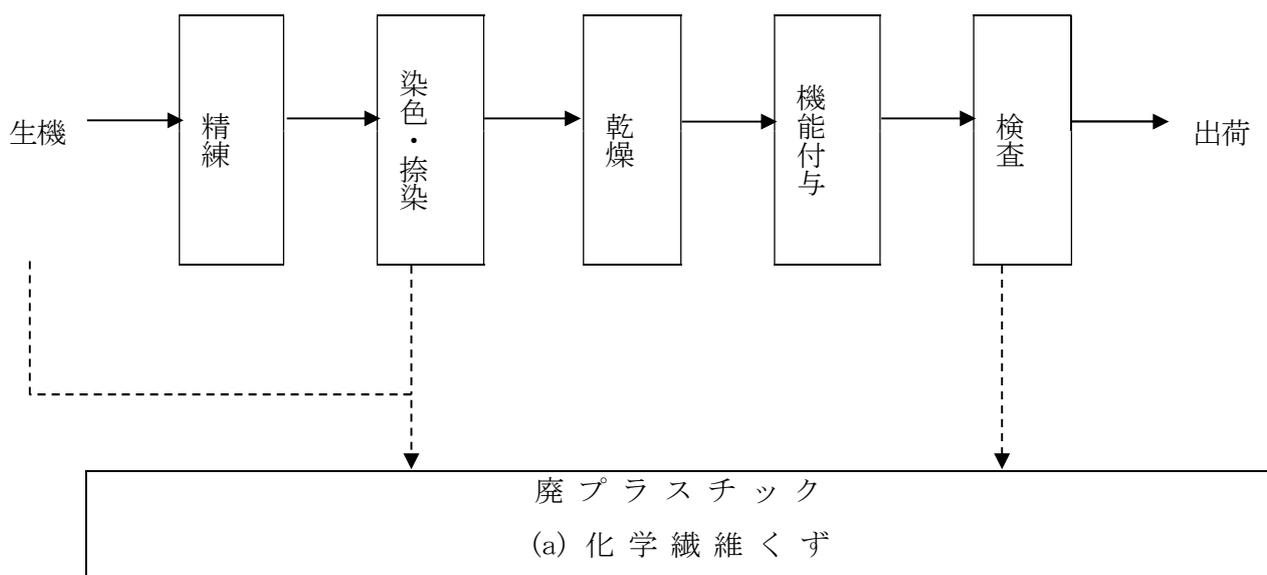


図 2. 染色・捺染・機能付与加工工程フローシート (No. 1)

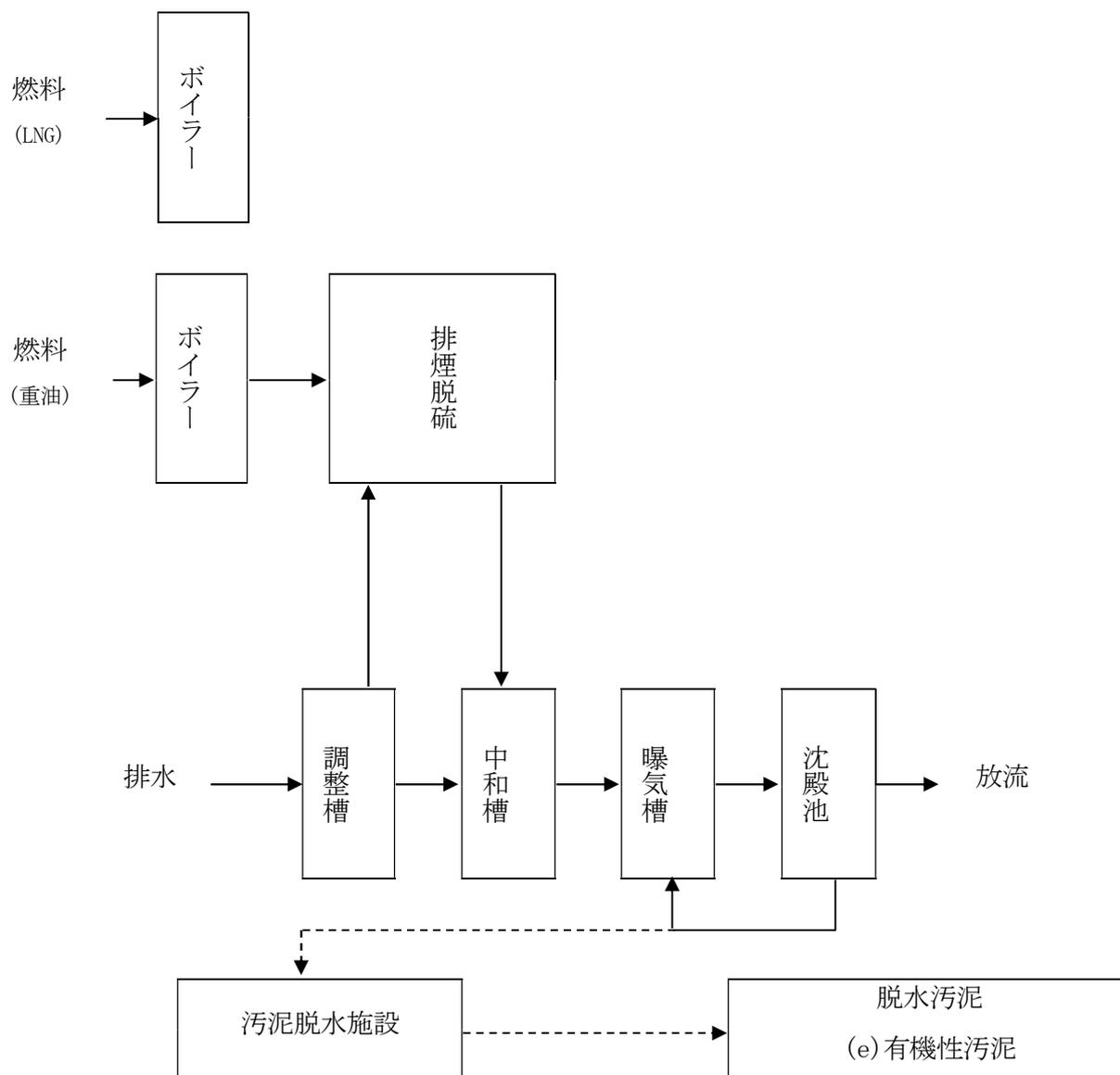


図3. 排水処理・ボイラー設備フローシート (No. 2)

表1. 前年度（令和5年度）の産業廃棄物発生量

（単位：トン）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず		合計
① 産業廃棄物排出量	698	85.8	8.1		791.9
② 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
③ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
④ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	698	0	0		698.0
⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
⑥ 全処理委託量	65	85.8	8.1		158.9
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0		0
再生利用業者への処理委託量	20	85.8	8.1		113.9
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0		0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0		0

表2. 今年度（令和6年度）の産業廃棄物発生目標量

（単位：トン）

産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず		合計
① 産業廃棄物排出量	575	95	10		680
② 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
③ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
④ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	575	0	0		575
⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0		0
⑥ 全処理委託量	20	95	10		125
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0		0
再生利用業者への処理委託量	20	95	10		125
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0		0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0		0